

工業用水道事業におけるPPP/PFI促進事業

平成31年度予算額 **1.0億円（1.2億円）**

事業の内容

事業目的・概要

- 公共主体が、厳しい財政状況の下で、効果的・効率的なインフラ整備・運営を可能とするため、公共施設等の運営で民間の資金や経営原理を導入するPPP/PFIの1つの類型として、**公共施設等運営権方式(コンセッション方式※)**が有効とされており、各分野で導入が進められています。民間企業に市場開拓と国際競争力強化のチャンスをもたらすものです。

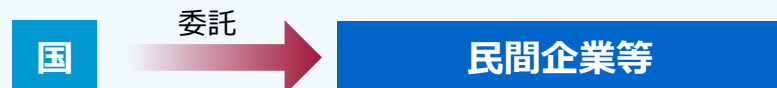
※地方公共団体等の公共主体が、利用料金の徴収を行う公共施設等について、PFI法に基づき、施設の所有権を有したまま、施設の運営権を民間事業者に設定する方式。

- これまで自治体等が整備・運営する工業用水道事業では、関連施設の多くが高度経済成長期に整備されたため、**施設の更新整備による老朽化対策が大きな課題**となっています。
- その対応策として、工業用水道分野でもコンセッション方式の導入が有効とされ、政府が推進する「**未来投資戦略2018**」、「**PPP/PFI推進アクションプラン**」では**重点分野に位置付けられ、平成30～32年度の3年間でコンセッション事業3件の具体化の数値目標が設定**されました。本事業は、これを受けて、**コンセッション方式の導入を促進する環境整備**を行うものです。

成果目標

- **平成30～32年度の3年間の期間内に集中的に取組**、工業用水道分野での**コンセッション事業3件の具体化**を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

コンセッション方式の導入を促進する環境整備の実施

- 複数の事業者に対して以下の取組を行い、**コンセッション事業の具体化を促進**します。
 - ・基本構想や基本計画を検討する**導入可能性等調査**
 - ・工業用水道の事業者(自治体等)の保有資産の詳細を調査・評価し、事業実施の際の民間事業者のリスクを洗い出す**デューデリジェンス(資産評価)**等
- コンセッション方式による事業について、事業者によって異なる様々な事情に応じて、事業者が自らで導入を実現できるよう、本事業で得た**ノウハウ等の成果を他の事業者に横展開**します。

コンセッション方式による事業開始までのフロー

